

かせぐたいよう そら・おたより

11 がっ

収穫感謝祭の日には、野菜を持って来ていただき、ありがとうございました。
持ってきた野菜を友だちと見せあったり、触れたりして神さまの恵みに感謝し、糸巻で
いただきました。
11月にも関わらず、季節外れなあたたかい日もありますが、一日の中でも寒暖差を
感じ、冬の訪れを感じるようになりました。これから、ますます寒くなりますが、毎日も
元気に活動的に過ごしたいと思っております。

かせぐみ

楽しかった園外保育

11月は園外保育で二条公園へ行ってきました。お天気に
恵まれて気持ちよく過ごすことができました。数日前から
楽しみにしていた様子の子どもたち、少し長い距離だった
ので「まだかな?」「もうちょっと?」と何度も聞いていました。
至り着くと広い公園に大喜びで歩き疲れた様子も感じら
れないほど元気でした。シヤウワシヤウワに竹馬戦けり広場で、しほ
とりをしたり、すべり台ですべったり沢山遊び、子どもたちの表情は
笑顔でいっぱい。はしゃいだことか嬉しくてあちこちから声が聞こえ
るほど楽しんでいました。そして存分に遊び、後のお弁当。いつもなら
もって遊びたいという子どもも「お弁当食べよう」と声を掛けると遊び
をせめて走ってリュックへ向かいます。友だちとシートをくっつけて準
備するとお家の人から持ってきたお弁当を次々に食べてくれました。
愛情が詰まったお弁当を友だちと食べることは子どもたちにとって
幸せな時間です。これから益々寒くなってきてお弁当を持て
にくことは難しいですが、春にはまた皆でお弁当を持って公園
へ行きたいと思っております。

最近の子どもたち

3歳の子どもは同世代や身近にいる人たちの言動を観察し
それを自分の行動として取り入れることがあります。最近のかせ
組の子どもたちも友だちの言っている言葉や行動を真似して
いる姿が見られます。大人からすると何故かなと思うことも子ども
にとっては理由があります。理由の(っとして)は「相手の気持ちになる
から」「興味や憧れを感じるから」「自分も言いたいと考えます。
また人間関係を作ろうとして真似することもあります。しかし、
友だちを「おまえ!」と叫んだりよくない言動を真似てしまったり、
相手を傷つけるなどの行動や言葉を真似てしまうこともあります。
関わりかたが変えたからこそトラブルになる場面もあります。
『今の行動、言葉で友だちがどんな気持ち(になったかな)』とその態度
一緒に考えていきたいと思っております。そして、
自分の気持ちはもちろんですが、友だちの気持ち
に「気づく」「知る」ことも大切にしていきたいです。



そらぐみ

お3回目の双ヶ丘

11月の園外保育は、双ヶ丘にしました。これまでの双ヶ丘は、バスで行、
バスで帰ってきましたが、今回は行きは歩いて行、できました。
大人の足で30分ほどかかる距離を40分くらいかけて歩きました。
今日は歩いていく、と言うと「えー、むりや。て!!」と言う子どもたちでしたが、友だちや保
育者さんのおしゃべりを聞きながら歩きました。双ヶ丘に着いても疲れた様子は
なく、早く山の中に入りたくて、ウズウズしているような子どもたちです。どんぐりや
松ぼっくりを見つけて、袋に入れて大量に収穫。山の中を走りまわっていました。途中で
吐いた息が白く、おなかを「はぁ...はぁ...」と呼吸合、別の場所へ
移動して、「ここはどこかな?」と試してはいました。魔法使いみたいやな、と言うと、
みんな一斉に「ひー」と迷って行きます。分かれ道があると、「どちら行く?」と相談
して進んで行きます。前にも行ったことのある岩場に到着すると、「はやくのぼろ
のぼろでもいい?」と気持ちかウワウワしているようでした。船岡山ほどの岩場では
ないですが、自分か上り下りできる場所を探して楽しんでいました。あっという間に時
間は過ぎていき、お弁当の時間です。シートを広げてお弁当の準備をするのも慣
れてきました。準備ができて嬉しそうにたまご焼きは「うーん、うーん、うーん、
うーん」とお弁当の中身について、友だちと話していました。中には「はし、てから
ぐちゃぐちゃになる...」と、ちょっと悲しそうにしている子どももいました。しかし、た
くさん身体を動かしたあとのお弁当、おうちの人から作ってくれたお弁当はモリモシ
みます。すぐに食べ終えて遊びに行き子どもたちでした。しばらく遊んだら、お
に帰る時間です。帰るバスが来そうになかったため、少し歩きました。歩こうと語
うと、さすがに「えー、いやや、バスが来たら!」と言ってはいましたが、歩き始めると、
「バスまだ?」と言いつつ3分ほど待って、バスは来ませんでした。11月は歩いて
歩くバスは来なくなり、おしゃべりをする余裕があるほどでした。
5月に初めて双ヶ丘に行、たり帰りは疲れておしゃべりもお元気がなくなり、6月の花
の日には、たまる寺や円町馬場にお花を届け、帰りに図書館に行ったのですが、そ
の時も帰りはバスで帰る、歩くのかせ。と、いう感じだったので、今度は重た
リュックを背負、歩いて、しっかりと歩けるようになり、大きくなったと感じることがで
きました。また、自然の中で遊ぶようにしたいと思っております。

クリスマス

11月に入り、クリスマス(聖誕祭)で、ヨセフさんとマリアさん、おぼる宿屋さん役も
みんな楽しんでいました。2軒の宿屋になる子どもたちですが、先日、クルーワが
決まり、衣装合わせもして、ウツウツ形になっていき、ウワウワしているような雰囲気
です。たくさん保護者の方に見ていただくような機会、運動会以外では
初めてのことで思っております。ひとりで楽しんで参加してほしいと思っております。

たいようぐみ

子ども大会、向上社保育園交流

今日は他の保育園の子どもたちと交流した日が2回もありました。
1/2には子ども大会が島津アリーナでありました。身体を動かすじゃん
けんやマットから玉を持ってきたりする中で、同じチームを組んだ子
どもに話しかける姿もあって、慣れないことに緊張している姿もありま
した。向上社保育園との交流では、梅小路公園で会い、初めてする
ゲームも教えてもらいました。自己紹介では名前と好きな食べ物、入学
する小学校を伝えたので、向こうの保育園で同じ小学校に行く人
がいると、一気に仲よくなったようでした。今までは保育園の
同じ友だちだけでしたが、小学校に行ったら色々な人と出会います。
これからの期待や環境が変わるという不安を受けとめていきたいと
思っております。

クリスマスに向けて

保育園では、クリスマスの装飾が飾られています。
これを見てもうすぐクリスマスだなと感じます。たい
ようぐみではペーシェントに向けて活動しています。
役を決める際に同じ役をやりたいと重なることがありました。重なった
場合は話し合いで決めます。保育者も必ずその場に入り、様子を見守っていま
したが、みんなの役がやりたい気持ちが同じでなかなか決まらないことも
ありました。しばらくすると「みんなの代わってあげる」と言う声や「前にやり
たいって言ってたやろ?だからいいよ」と話すこともあり、違う役に回る
こともありました。何度も確認をし、全員がこれでいいよと決まっ
ていきました。本当は自分がやりたかったけど、ゆずるということは簡単
には出来ないし、すばいことだなと思っております。その子どもたちの気持ち
を感じながら受けとめながら次に進んでいきたいと思っております。
今はまだセリフなどがあいまいですが、大きな声で言う、それぞれの役
の気持ちを考えながら、聖誕祭に入っていく、イエスキリストのお誕生をお祝い
したいと思っております。早いものでもう12月です。子どもたちはどんどん成長して
いきます。残りの日も一日ごとに大切に過ごしていきたいです。

